

5. 水道事業の将来像

5.1 将来像の設定

本水道事業の将来像は「安心」・「安定」・「持続」・「環境」・「国際」等に着目し、今後の水道事業を向上的に進展させる基本構想の主旨、方針を示し、今後の取り組む姿勢を表すものです。

中央市水道ビジョンでは、「安全な水を供給し続け、市民に信頼される水道」を基本理念として取り組み、また、次に示す5項目を基本方針として目標を掲げます。

【基本方針】

「安心」： 安全でおいしい水道水を供給します

「安定」： いつでも良質な水道水を供給します

「持続」： 市民中心の水道事業の経営を行います

「環境」： 環境にやさしい「エコ」な水道を目指します

「国際」： 国際貢献を積極的行います

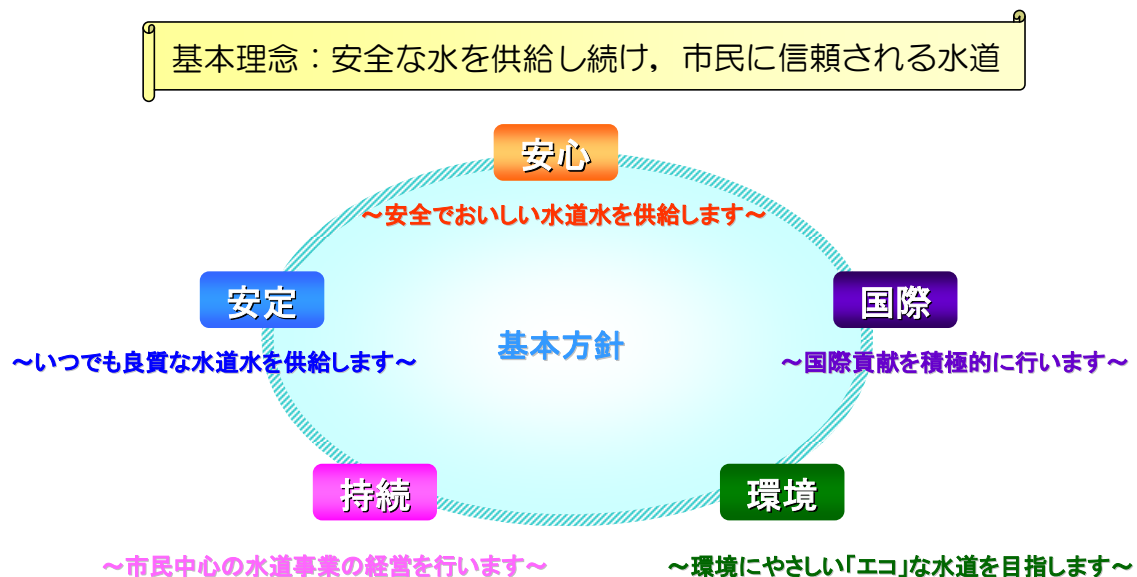


図 5.1 基本理念と基本方針

5.2 実現方策

各基本方針に基づいた実現方策は以下に示すとおりです。

5.2.1 安心

■水質管理体制の徹底

安全でおいしい水を供給するため、水道法で検査が義務づけられた水質基準項目に加えて水質管理目設定項目などの水質検査を定期的の実施し、水道水の水質管理を徹底していきます。

また、水質検査の項目、頻度、場所は、水質状況に応じた水質検査計画を毎年策定し、それに基づき実施した水質検査の結果とあわせて、市のホームページで公開しております。

■維持管理水準の向上

効率的かつ的確な運転管理を実施するために、運転データ（水量、圧力、残塩等）のデジタル化や、中央監視による一元管理を行う体制を構築します。このことにより将来の施設整備を的確に進めるようになります。

5.2.2 安定

■老朽化施設の更新

布施配水場や鍛冶新居配水場、リバーサイド配水場では、施設の老朽化や劣化が著しいことから早期に更新を行い、安定給水を確保していきます。また、ポンプ等の機械設備も耐用年数を経過していることから、早急な更新を行います。

■平常時の安定給水

平常時に安定した給水を行うためには、日頃の定期的な維持管理や修繕はもちろんですが、施設能力に適切な余力が必要となります。そのため、鍛冶新居配水場の整備や、布施配水場の水源整備、不足している配水池容量の増強を行うことにより、給水の安定性をさらに向上させます。

■緊急時対策（地震時、水質事故時、停電時など）

布施配水場や鍛冶新居配水場、リバーサイド配水場は、施設の耐震性や配水池容量不足などの課題を抱えており、地震災害や水質事故などの緊急時における応急給水に懸念があります。その対策として、以下に列举する具体的な施設整備を計画しています。

① バックアップ体制の構築

隣接する配水ブロックからのバックアップを可能とすることにより、断水の危険性を低くします。そのための施設整備として、現在休止中である鍛冶新居配水場の整備や配水管網の整備を早急に実施します。

② 配水池容量の増強

緊急時の応急給水にも十分に対応可能な配水池容量を、各配水場に整備します。

③ 水源の2系統化

水源が1系統のみである今福配水場の災害時の安全性を向上させることを目的として、予備水源を整備し水源の2系統化を図ります。

④ 耐震管路への布設替え

耐用年数（布設から40年）を超える管路は、地震に対する脆弱性が懸念されているため、計画的に耐震管路への布設を行います。

また、万が一地震等の被害を受けた場合に備えて、応急給水拠点の整備、応急復旧の器具機材や応急給水袋の備蓄及び防災訓練、給水車や発電機などの整備を行っています。



写真 5.1 応急給水車



写真 5.2 応急給水袋

5.2.3 持続

■水道サービスの向上

本水道事業に対するお客様からのニーズを的確に捉えながら、お客様の視点に立った事業運営を進めていきます。そのために、積極的に広報を行い水道事業の理解を深めてもらうとともに、市民ニーズを事業に反映させ「サービスの向上」に継続的に取り組んでいきます。

■適正な水道料金の設定

本水道事業は、お客様からの水道料金により事業を運営する独立採算の企業として、常に経済性を図り、効率的な経営を行う必要があります。中央市は、これまで比較的低い水準の水道料金で運営を行ってきておりますが、老朽化した施設の更新や緊急時対策には多額の費用がかかるため、水道料金の見直しによる資金調達が必要となります。老朽化施設に10年以上手をつけないことは、配水の安定性を損なうこととなり得るため、お客様のご理解を頂き水道料金の見直しを検討したいと考えています。

5.2.4 環境

■有効率の向上

本水道事業の1日平均配水量に対する有効水量（有効率）は現在84%程度であり、石綿セメント管の早急な更新や、老朽管の計画的な更新により漏水量の低減を図り、本計画の有効率の目標値である90%の達成に努めていきます。

5.2.5 国際

■国際貢献

要請があれば海外からの研修生の受け入れや海外への人材派遣を行います。

5.2.6 事業計画

1) 事業概要

本上水道事業は、平常時はもちろんですが緊急時においても、お客様に安定した供給を行うために、老朽化施設の更新や緊急時対策に必要な施設整備を最優先として実施していきます。

図 5.2に今後の事業概要を示します。

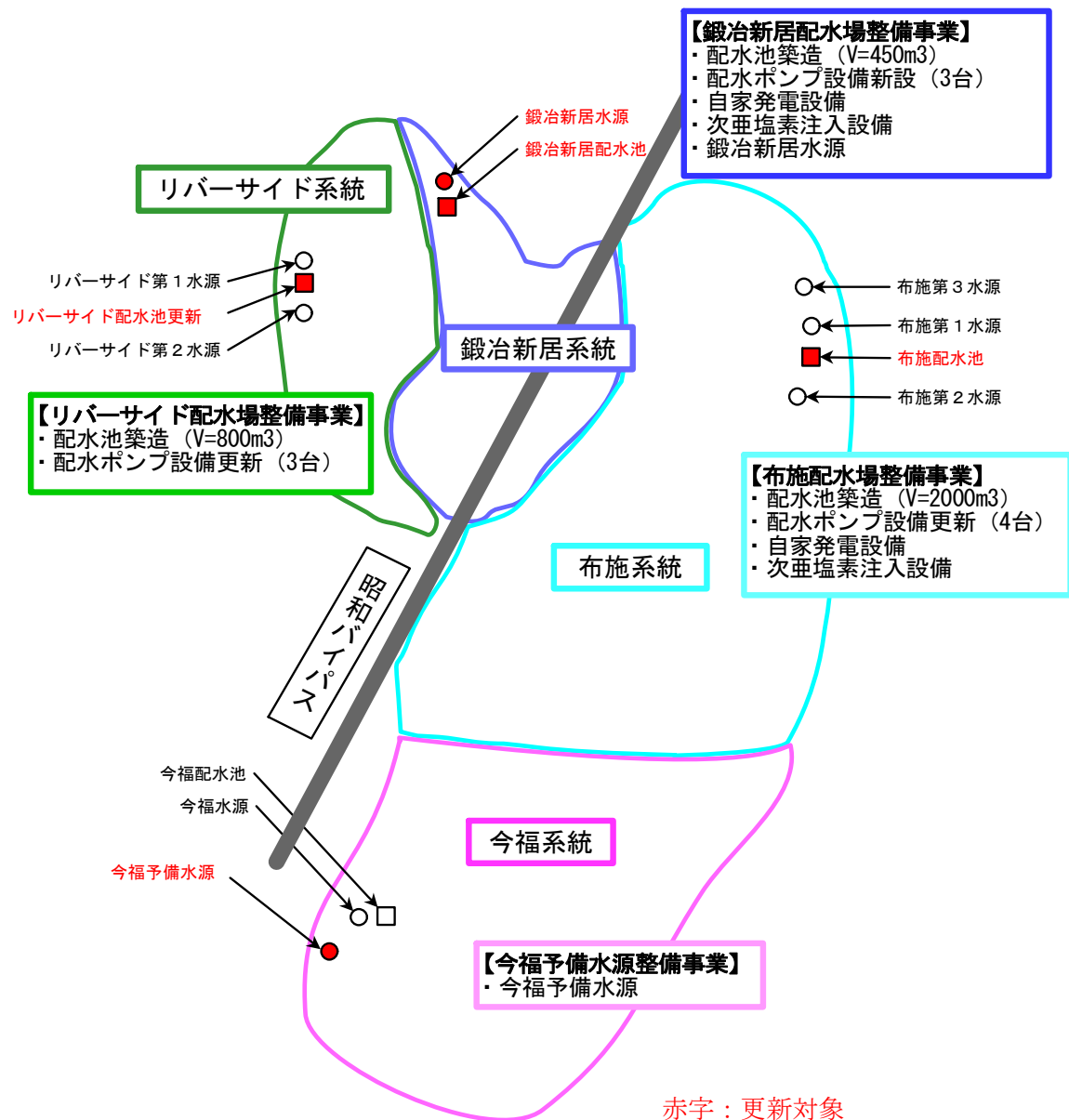


図 5.2 今後の事業概要

2) 事業工程及び概算事業費

事業工程と概算事業費を図 5.2に示します。

今後 10 ヶ年では、今福配水場の予備水源整備、鍛冶新居配水場、布施配水場の更新を優先的に順次事業を進めます。また、配水管についても石綿セメント管を最優先として継続的に布設替えを行います。事業実施には、約 22 億円の事業費を見込んでおります。

また、リバーサイド配水場の更新や中央監視制御設備についても、平成 30 年以後計画的に事業を実施していきます。

表 5.1 事業工程と概算事業費

主要事業	上段: 予定事業費(億円) 下段: 工事期間	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30 以降
1. 今福予備水源整備事業	1.20			0.40	0.80							
				←	→							
2. 鍛冶新居配水場整備事業	7.66				0.20	0.70	3.46	3.20	0.10			
					←	→	→	→	→	→		
3. 布施配水池更新事業	9.76						0.20	0.80	1.36	4.10	3.00	0.30
						←	→	→	→	→	→	H31完了
4. リバーサイド系更新事業	5.50 (H30～H34)											5.50
												→
5. 中央監視制御設備	1.50 (H34～H35)											1.50
												→
6. 配水管整備事業	3.80 (H20～H29)	0.70	0.70	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30 /年
		←	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
■事業費計(H20～H29)	22.12	0.70	0.70	0.70	1.30	1.00	3.96	4.30	1.76	4.40	3.30	



中 央 市 水 道 ビ ジ ョ ン

平成 20 年度

中央市建設部水道課
TEL : 055-274-8554
FAX : 055-274-1130
〒409-3893
山梨県中央市成島 2266

URL : <http://www.city.chuo.yamanashi.jp/sougou/benri.php?id=296>
